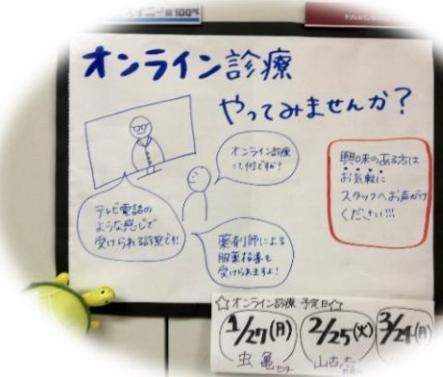




距離を超えて、心をつなぐ医療

— 中山間地におけるオンライン診療の挑戦 —





人口

252,527人(2025.12.1)
県内では新潟市に次ぐ第2位

特色

豪雪の山間部から海岸部まで総面積891.13km²
長岡まつり大花火大会は日本三大花火の一つ

特産品

米、酒、錦鯉など



地域医療の課題



診療所の減少

- ・人口減少
(利用患者の減少)
- ・医師の高齢化
(診療所承継者の不在)
- ・医師の地域偏在
(都市部への集中)



交通弱者の増加

- ・住民の高齢化
(移動機能の低下、運転免許返納)
- ・同居や近居で親のサポートを行う
子世代の減少 (都市部流出)
- ・公共交通の減便、廃止
- ・地理的条件(山間地域、豪雪地帯)



地域に暮らし続ける住民が
かかりつけ医による診療を
受けられなくなる



導入の舞台となった山古志地域



市の南東部に位置する山間地で、日本の原風景が残る場所として知られる。
デジタル村民制度やNFTを活用した地域活性化でも話題に。



■ 基本情報

- ・面積: 約39.8 km²
- ・人口: 697人(2025.12.1)
- ・合併: 2005年に長岡市へ編入
- ・アクセス: 長岡駅から車で30分(公共交通機関なし)

■ 特徴・文化

- ・中越地震(2004): 甚大な被害で全村避難。2007年に住民の7割が帰村。
- ・棚田の景: 四季折々の絶景スポットとして多くの写真家が来村。
- ・錦鯉発祥の地: 国内外からバイヤーや愛好者が来村。
- ・豪雪地帯: 冬には3~4mの積雪。

■ 医療機関

- ・山古志診療所のみ(虫亀診療所・種苧原診療所は2022年12月から休止)
- ・地域内に調剤薬局がないため、薬は山古志診療所で院内処方

山古志地域オンライン診療の経過



令和7年10月

民間モデル事業

・山古志以外の地域にも広げていくため、民間クリニックでの試行支援開始

令和6年2月

電子カルテ導入

・クラウド型を採用し、医師・看護師・事務が別の地点から同時操作可能に

令和5年11月
オンライン診療車導入

・テレビ会議システム等を搭載した車両を虫亀、種苧原地域に派遣し、患者の移動負担を軽減

令和5年1月30日
オンライン診療開始

・長岡中央総合病院と山古志診療所をビデオ通話で接続して診療
・2時間×週2回の対面診療は継続

令和5年1月13日
山古志診療所で診療再開

・長岡中央総合病院の医師を派遣し、2時間×週2回の診療を開始

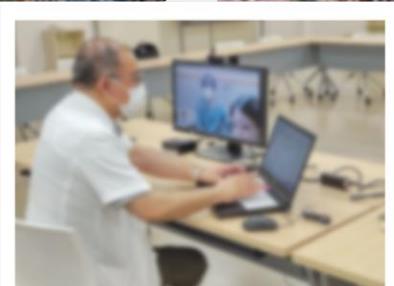
令和4年12月8日
長年勤めた医師が退任

・山古志地域内の山古志・虫亀・種苧原・の3診療所すべて休止

診療体制その1 「オンライン診療所型」



長岡中央総合病院



テレビ会議システム



クラウド型電子カルテ

山古志診療所



患者さんはいつもと同じように、自家用車やコミュニティバスで診療所へ
→ 診察室でテレビ通話の診察を受け、薬を受け取って帰る

診療体制その2 「オンライン診療車型」



診療

テレビ会議システム
クラウド型電子カルテ

服薬指導

オンライン診療車に看護師が乗り、
地域の集会所や患者さん宅へ

↓
テレビ通話で
医師の診察・薬剤師の服薬指導

↓
翌日に診療所職員が患者さん宅を
訪問し、薬配達・会計を行う



処方せん

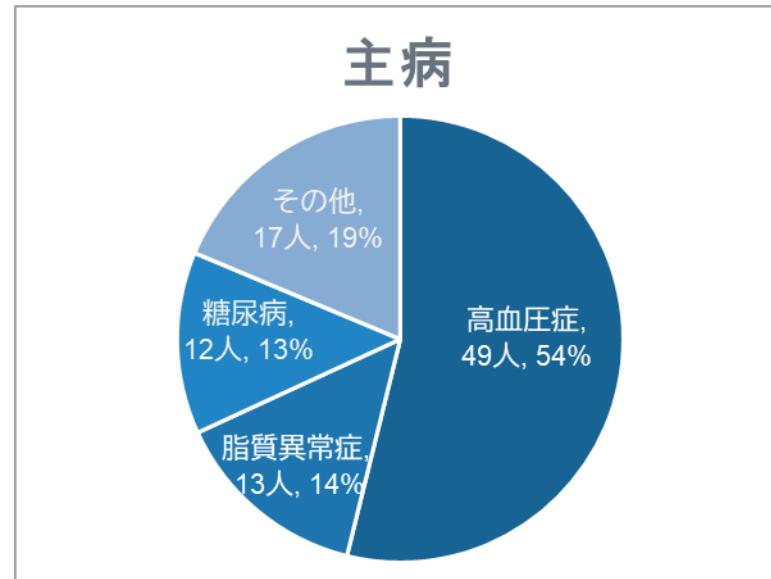
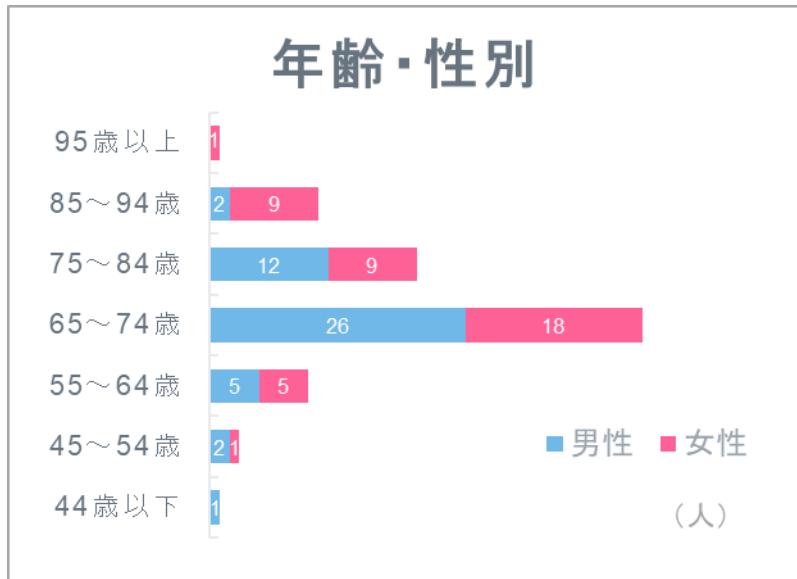




受診者数実績 2023.1～2025.12

- ・のべ223人(毎月最終月曜に実施、計36回)
- ・実人数91人(山古志診療所定期受診患者201人の約45%)

受診者属性 2023.1～2025.12



患者アンケート



実施期間：R5.12～R6.6 回答者数：27人

安心して受診することができましたか。

- | | |
|------------|----|
| 1. とてもそう思う | 21 |
| 2. 概ねそう思う | 6 |
| 3. そう思わない | 0 |
| 4. 該当なし | 0 |

医師とは問題なく話ができましたか。

- | | |
|------------|----|
| 1. とてもそう思う | 20 |
| 2. 概ねそう思う | 5 |
| 3. そう思わない | 0 |
| 4. 該当なし | 0 |
| 未回答 | 2 |

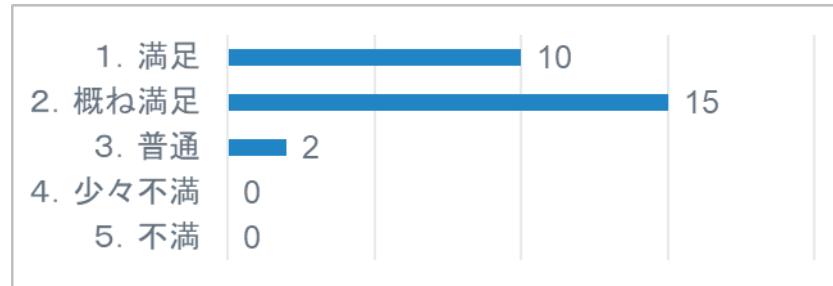
今回のオンライン診療は通院での診療と比較していかがでしたか。

- | | |
|---------------------|----|
| 1. オンライン診療のほうが便利・よい | 3 |
| 2. どちらも活用していきたい | 8 |
| 3. 変わらない | 12 |
| 4. 通院のほうが便利・よい | 2 |
| 5. 分からない | 2 |

患者アンケート



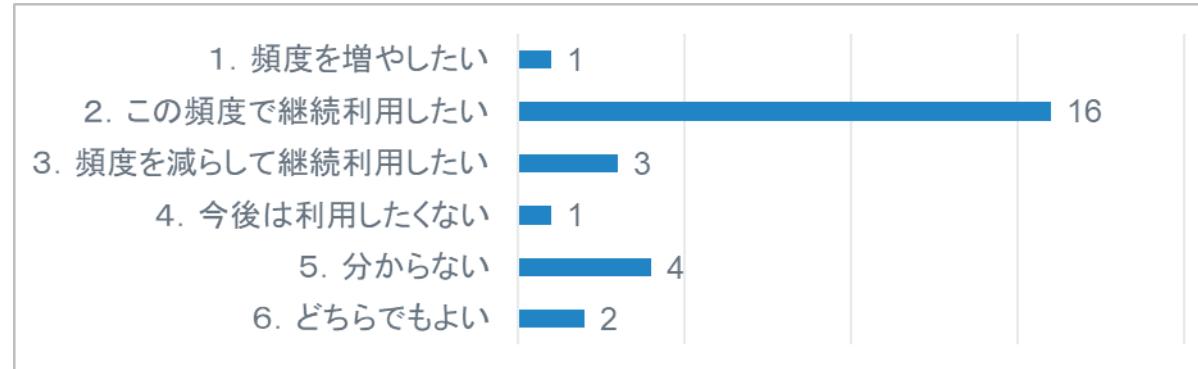
■ 今回のオンライン診療の満足度はいかがでしたか。



- ・体調の変化がないときはよいと思う
- ・近い方がよい(冬は特に!!)



■ 今後、オンライン診療を利用したいですか。



■ 自由意見

求められるオンライン診療の違い

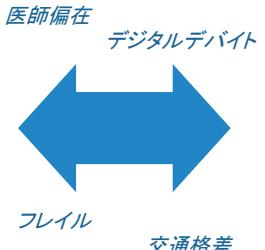


D to P with N (Doctor to Patient with Nurse)

- ・看護師の診療補助により診療の質や患者の**安心感**を担保
- ・医師は移動負担がなく、従事しやすい

オンライン診療車

- ・患者・家族の移動負担軽減
- ・患者側の端末用意・操作不要
- ・安定した環境
- ・患者のプライバシー保護



【人口減少と高齢化が進行する中山間地域】

ひとの手によるサポート・安心感
「つながりと寄り添いの診療」



スマホでオンライン診療

- ・予約、受診、支払から処方薬の発送まで**アプリで完結**
- ・自宅や職場で受診できる
- ・さまざまな医療機関から選択可能

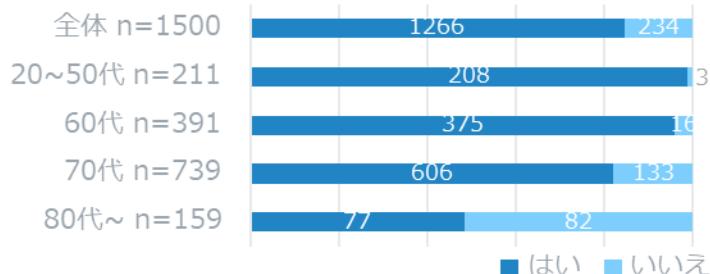
【若年層が多くライフスタイルが多様化する都市部】

セルフマネジメント・時短・非接触
「スマートで自由度の高い診療」

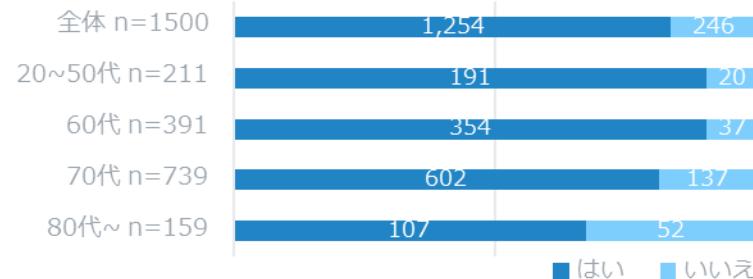
オンライン診療の普及状況・市民の意識



スマホやタブレット端末を所有・使用していますか



「オンライン診療」を知っていますか



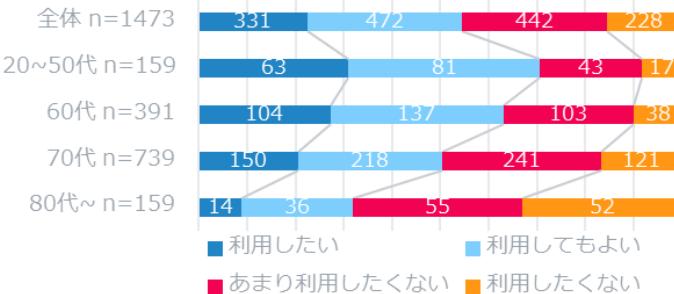
オンライン診療を受けたことがありますか



一人で受けすることはできますか



オンライン診療を利用したいですか

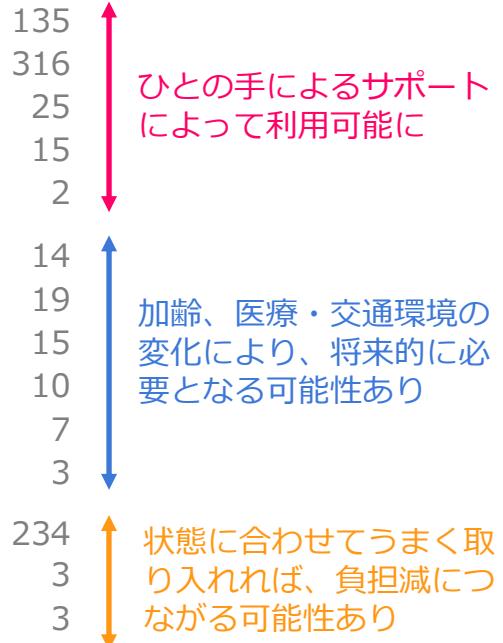


オンライン診療の普及状況・市民の意識



「あまり利用したくない」または「利用したくない」と回答した人(n=670)の理由(複数回答可)

- 医師とうまく話せるか心配
- スマホの操作がわからない
- 対面による安心感を得られる
- 年齢的に覚えることが困難
- スマホを持つ予定がない
- 通院時、別の用事や楽しみがある
- 自宅から医療機関の距離が近い
- 現状通院できている
- 面倒
- 医療機関に受診をしていない
- 必要性を感じない
- 十分な診察ができないと思う
- 医療機関受診時に検査等が必要
- 費用面に疑問等を感じている



地域の医療が変化する中で受診の機会を確保するため、安心してオンライン診療を利用できる環境を整えていく

オンライン診療のさらなる活用に向けて



高齢者のデジタルシフトに合わせたアップデート

(市立診療所において)

- ・スマホ保有率やITスキルの向上に合わせた支援の簡素化
- ・支払いのオンライン決済化
- ・オンライン診療枠の拡大

など



市内医療機関への導入促進

- ・医療関係者、市民に向けた啓発
- ・診療報酬等の導入課題の分析
- ・多職種による連携体制に関する検討 など



